

2024年11月27日

プレスリリース

報道関係者各位

一般社団法人日本かまぼこ協会
全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会
代表理事会長 下村 全宏

製造コストが軒並み高騰、業界の窮状にご理解願います

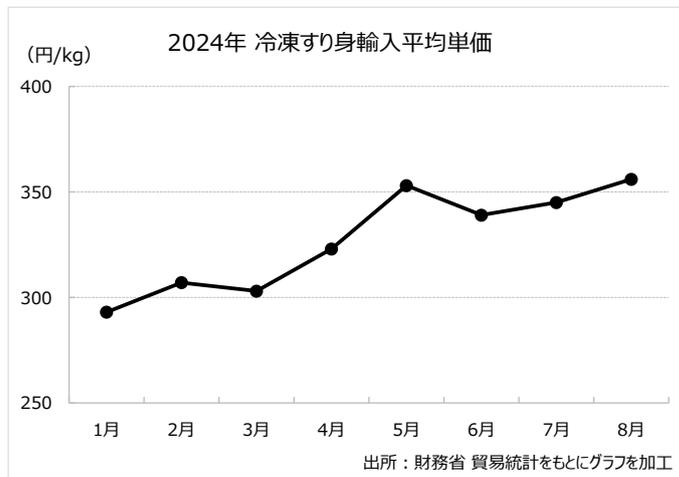
魚肉ねり製品（かまぼこ、ちくわ等）の製造コストが急騰しています。今年になって主要原料であるスリミの値上がりが顕著となり、また包装資材費（蒲鉾板含む）、人件費、物流費、電気代・ガス代等エネルギーコストの度重なる高騰が追い打ちをかけております。

このような厳しい環境の中、加盟各社は生産の効率化、合理化、原材料の見直し等出来る限りのコスト削減に取り組み、商品の安定供給とともに品質・価格の維持に努めてまいりましたが、自助努力だけではコスト増を吸収することが困難な状況になっております。

私共メーカーの苦境を何卒ご理解ご賢察賜り、各位におかれましては広く全国（小売業界や消費者等）にお伝え下さいますようお願い申し上げます。

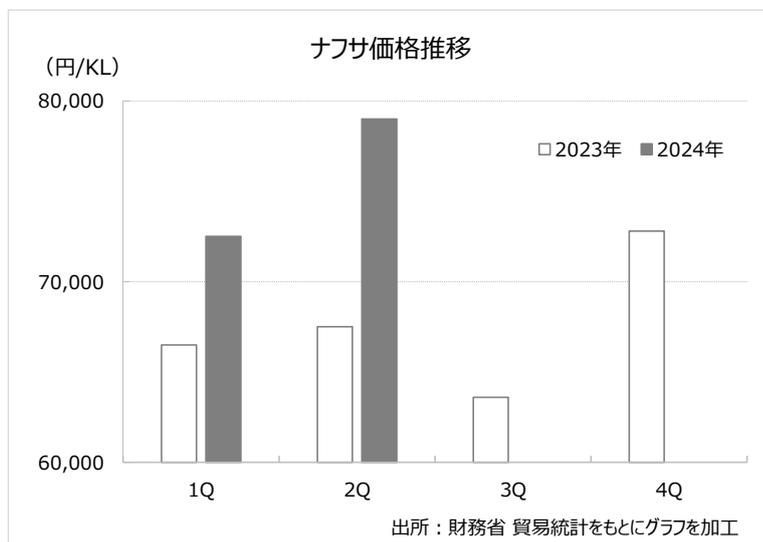
1. 主原料のすり身価格が高騰

すり身価格の指標となる今年 B シーズンの米国アラスカ産すけそうすり身価格は同年 A シーズンと比較し、15%の値上げになり、今年になって2季連続の上昇となっております。又、来年の A シーズンについても米国における生産サイドの人件費を始めとしたコスト高騰の影響から更に値上げになる見込みです。この様な状況により、冷凍すり身輸入平均単価が全般的に年初より上昇しております。



2. 包装資材費も高騰

為替や原油価格の影響によってフィルムやトレイ等包装資材の原料であるナフサ価格が上昇を続けており、包装資材費も上昇しております。



3. 人件費、物流費、エネルギーコストも高騰

人件費については毎年最低賃金が4～5%上昇しており、この傾向は続いていく見込みです。(全国加重平均単価；2022年 961円、2023年 1,004円、2024年 1,055円)

また物流費は2024年問題に直面しており、運賃に加え、保管料等、あらゆる物流に関わるコストが高騰しております。

電気を始めとしたエネルギーコストについても原油価格や為替の影響もあり、上昇傾向となっております。

以上の様な状況下ではありますが、業界としては単に価格を上げるだけでなく、継続して商品価値を高める活動についても取り組んで参る所存です。

就きましてはこの様な業界の窮状についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

以 上